

A B O U T

A D O V O

特定非営利活動法人Adovo

目次

1. 目次
2. 法人の概要
3. 国際交流
4. 日本語教室
5. 啓発活動
6. 組織運営
7. 組織情報
8. ご支援について

NPO法人Adovo
メンバー募集中
Adovoは学生が運営するNPO法人です

<https://adovo.or.jp>

お問い合わせ
特定非営利活動法人Adovo 事務局人事係
member@adovo.or.jp

ともに生き、学び合う
「ともいき社会」を創る

日本語教室 日本で働いている外国人を対象にした学生による無料の日本語教室の先生を募集しています。

国際交流会 運動会や文化・言語交流などを通して日本で働く外国人の方への国際交流会のスタッフを募集しています。

啓発活動 小論文コンテストや勉強会、講演会を通して外国人の人権問題を発信する運営スタッフを募集しています。

特定非営利活動法人Adovo 事務局人事係

メンバー募集カード

なお、メンバーは随時募集しています

法人の概要

○はじめに

Adovo は、2020 年 12 月高校生によって設立された、日本で働く外国人の方のサポートや啓発活動を行う団体です。2021 年 6 月に法人格を取得し、12 月には早速事業の大幅な変更を行うなど、流動的に活動しています。その柔軟さは学生ならではのものといえるかもしれません。

現在、Adovo は「国際交流」「日本語教室」「啓発活動」の 3 つの軸に沿って 6 つの事業を展開しており、様々な面から日本で働く外国人への支援を行っています。（事業については 3 つの軸を元に後ほど詳しく説明）

メンバーは未だほとんどが大学生か高校生であり、資金面や広報面など多くの点で失敗することも多くありますが、無鉄砲に頑張っています。

どうかよろしくをお願いします。

○活動の目的

私たちの定款には「この法人は、近年急速に増加している日本の技能実習生を中心とした外国人労働者の人権問題の解決を図るとともに、中高生の社会活動の促進を図り、以て、ともに生き、学び合う「ともいき社会」の実現に寄与することを目的とする。」という風に目的を設定しています。

この目的の達成のために私たちは次の項で掲げる事業を行っています。

○事業内容

1. 国際交流推進事業
2. 日本語教育促進並びにその研究に係る事業
3. 外国人労働者等の人権問題に係る研究及びその啓発事業
4. 作文コンテストの開催事業
5. 学生団体、ボランティア団体の援助及び交流事業
6. 類似の事業を行う個人、団体、法人の援助及び交流事業



会議の様子

国際交流

○概要

日本に働きに来ている外国人にとって、日本の若者と関わる機会はなかなかありません。コンビニで買い物をする時くらいなもので、工場や建築現場勤務の技能実習生などはすれ違う機会すら少ないかもしれません。

しかし、例えば、平均年齢が20代前半の技能実習生にとってみれば、日本は初めて来る外国であり、言語がなかなか通じない土地であり、初めての職場です。

年齢が近い学生や若者との交流の場を作り、少しでも日本での生活を快適なものにしてほしい。そういう思いからこの国際交流事業は始まりました。そしてこの国際交流はAdovo当初からの事業であり、今もAdovoの中心事業の一つです。

今まで開催はすべてオンラインで行い、折り紙教室やディスカッションイベント、ゲームイベントなどを行ってきました。

○これまで

Adovoの国際交流会は原則として月に一回のペースで開催しています。2021年4月に第一回が開催されて以来、フィリピン、ベトナムなどから多くの人々が参加してくれています。



↑ 第一回国際交流会の集合写真

第四回国際交流会の集合写真→

(写真はプライバシー保護のため一部加工しています)

○今後の展望

Adovoの国際交流会はこれまですべてオンラインでの開催でした。参加して下さった方々からは「せっかくの機会だからオフラインでもっと話したい」という声も多くありました。

そこで、現在、文化的伝統的スポーツを通して、交流する「ともいき運動会」を企画中です。

ソーラン節や盆踊り、相撲などの伝統芸能に加え、縄跳びなど日本の最近の文化も知ってもらいつつ、フィリピンやベトナムの伝統芸能やスポーツを通して、お互いへの偏見をなくし、「日本好き」「〇〇好き」を増やしたいと思っています。

日本語教室

○概要

国際交流が始まったきっかけは、「日本で快適に過ごしてもらいたい」という思いからでした。この日本語教室は国際交流の延長から始まった事業です。学生が**完全ボランティア**（オンライン型ではマンツーマン）で、日本で働く外国人に日本語を教えています。

趣味やゲーム、音楽の話で盛り上がることもしばしばあります。年齢が近いからこそ分かり合えることもたくさんあるはずです。

また、私たちの教室の良いところは「おしゃべり」だけではないこと。技能実習から特定技能にビザを変更したり、サービス業など比較的高いレベルの日本語が求められる職につくために必要な資格である日本語能力試験 N4（五段階のうち下から 2）や、さらにその上のランクの N3 などが取得できるような授業を行っています。

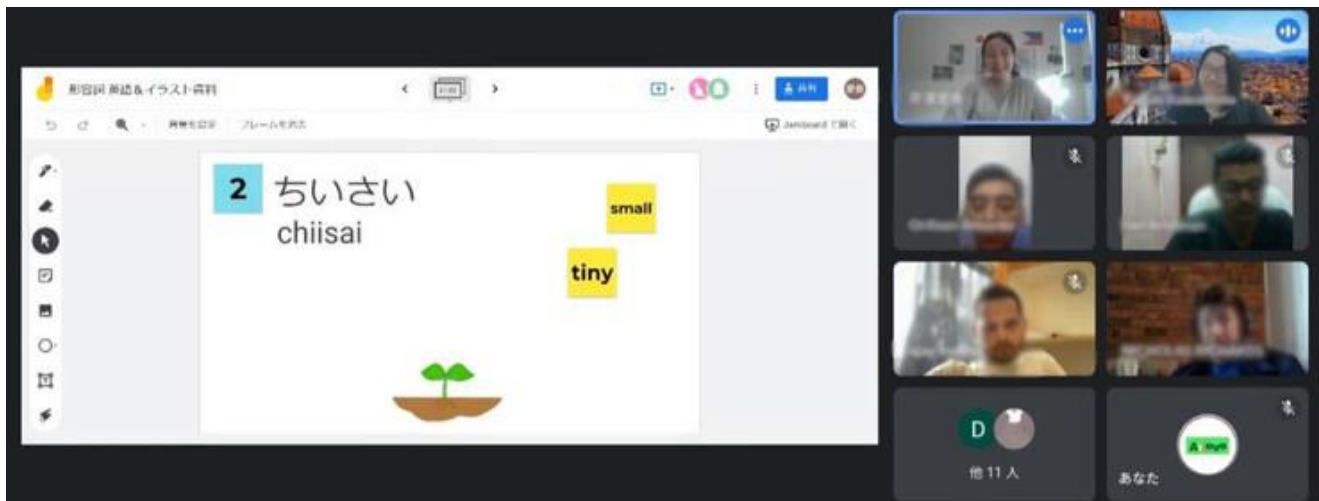
K-NET 株式会社様からお貸しいただいている **eラーニングシステム** を活用し、授業ではその確認を行うなど、**きちんと会話力を上げつつ、試験対策も行う効果的な授業**を実施しています。

外国人を雇用する企業や保護をする NPO などを主な対象としていて、オンライン型・出張型（東京・神戸のみで実施）があります。

○これまで

まだスタートしたばかりのもので、生徒は多くありません。（プライバシー保護の観点からマンツーマン教室の写真は掲載できません。）

マンツーマンだけでなく時々皆で集まり、日本語を教えるイベントも実施しています。



←私たちが運営している「日本語教室じゃぱぼ」にはホームページがあります。

<https://japavo.adovo.or.jp>

啓発活動

○概要

近頃、技能実習生への暴行事件や、逆に実習生が詐欺の一端を担い、捕まってしまうニュースをよく耳にします。

少子高齢化が進み、第一、第二産業の担い手がいなくなることが容易に想像されるこの日本には「外国人労働者」の存在が絶対に必要となります。

「選ばれる日本」となるためにはどうすればよいのでしょうか。

それを学生と共に考え、また同時に学生に日本で働く外国人のことを知ってもらうというのがこの啓発活動の主旨です。

○これまで

Adovo 独自として勉強会等を企画したことはありませんが、Adovo が加盟する「責任ある外国人労働者受け入れプラットフォーム」(JP-MIRAI)の事務局の方々と共に、若者向けのイベント「JP-MIRAI Youth 勉強会」を2022年2月に開催し、技能実習生の保護をなさっている方のお話を聞いた上で意見をまとめました。

グループ②



①大恩寺のインタビューのどこに注目したか
近隣の人たちとどう関係を構築していくか-安心に直結する
チームに向けられた具体的な支援について
実際にされた相談について(社会保険など)

②外国人全般に関する自身の問題意識
日本人の人たちに自分事として考えること どうしても悪い面が取り上げられがち
行政サービスが全く外国人向けではない
やさしい日本語が浸透していない

③アイデア
外国人に関する良いニュースの発信
外国人はあくまでマイノリティの一つとして考える。わざわざ日本人、外国人で分ける必要はないかもしれない。
まずは会って、交流して(スポーツ交流、音楽交流など言語をあまり使わないもの)お互いのことを知る。
コミュニケーション

グループ④



①大恩寺のインタビューのどこに注目したか
「まずは声をかけることから」という住職のお話が印象的だった。
現状では、技能実習生の存在を認識することすら難しい。
その中で、大恩寺が交流の「土台」になっていることが重要だと感じた。

②外国人全般に関する自身の問題意識
「選ばれる日本に」という目標に向けて、「おもてなし労働者か」という見方を超えて「市民」として外国人労働者を受け入れていく必要があるのではないか。

③アイデア
報道を通じて外国人労働者の存在を知るだけではなく、草の根で実際に活動をしていくことが大切。
ex) 折り紙等日本の文化を取り入れた交流会の実施
・作文コンテスト

勉強会でまとめた意見

○今後の展望

これまでの勉強会などの企画は、皆で意見を出し合い、知識を共有し深めることが可能でしたが、数が少なく日本社会(特に学生)への啓発としての効果はとても小さいです。

そこで私たちが今、企画しているのが全国の中高生を対象とした小論文コンテストです。大賞から優秀作まで賞金(図書カード等)を出し、「日本に今後も継続して外国人労働者が来てくれるようにするためにはどのような施策や取り組みが必要か、また私たち日本人はどのように接すればよいのか」について考えさせるものです。

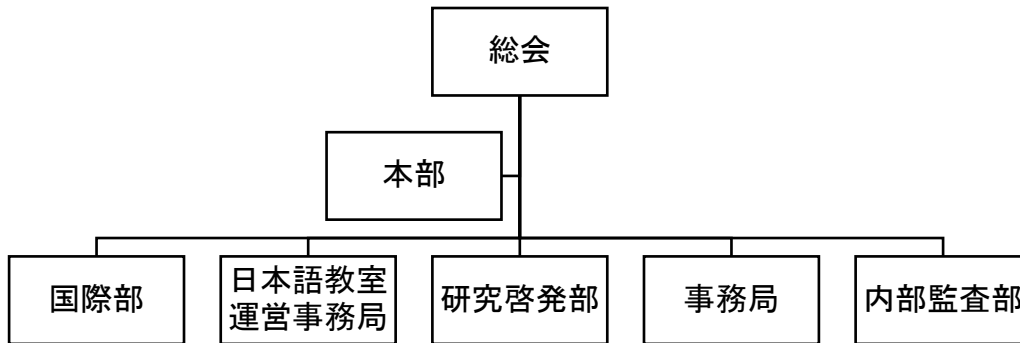
小論文を書くために、インターネットや図書館で技能実習生、外国人労働者について調べ、彼らについて深く知ってもらうことが狙いです。

もちろん、この企画の実行のためには多くの資金や人手が必要でなかなか学生たちの団体では難しいところもあります。クラウドファンディングなどを使用して、お金を集め、慎重に計画を立てていく予定です。

組織運営

○概要

メンバーが学生ということもあり、考査や学校などが Adovo の活動に大きな障害となることが多々あります。そのため、私たちは部署での仕事割を行い、抜けがあっても対応できるような運営を行っています。



組織運営について、詳しくは <https://adovo.or.jp/corporation> からご覧になれます。

○部署について

- **総会**
定款上の最高意思決定機関です。
- **本部**
代表と副代表の3名のみで構成され、総会で決まった内容を元に各部署に指示を出し、それを統率します。
- **国際部**
活動の軸の一つである「国際交流」を主な担当としています。国際交流会の企画運営だけでなく留学・国際交流についての講演会の企画もしています。
- **日本語教室じゃぱぼ運営事務局**
活動の軸の一つである「日本語教室」を主な担当としています。ほとんど独立した一つの団体ようになっていて、Web サイトの管理やメールの対応、教師・生徒の管理など日本語教室に関わることをすべて担当しています。
- **研究啓発部**
JICA の勉強会での意見会などで外国人労働者施策について研究したり、小論文コンテストや勉強会の企画を担当しています。
- **事務局**
法人の書類や団体内のシステムの作成・管理を行う事務局本部、広報係、人事係、経理係に分かれています。人事係の中にはメンバーの誕生日をお祝いしたり懇親会や送別会などを企画する「冠婚葬祭班」があります。
- **内部監査部**
上にあげた部署が適切に動いているかを監査しています。部署内のチャットから外部とのメールまでしっかりと確認し、団体の運営を正しい方向に導いています。本部とて監査の対象外ではありません。

組織情報

○お問い合わせ先

すべてのお問い合わせに、迅速かつ正確にお答えできるように部署ごとにメールアドレスを分けています。団体全体へのお問い合わせ、本部、研究啓発部、内部監査部へのお問い合わせは info@adovo.or.jp までよろしく願いいたします。

- お問い合わせ専用メールアドレス
info@adovo.or.jp
- 国際部メールアドレス
global@adovo.or.jp
- 日本語教室じゃぱぼ運営事務局メールアドレス
info@japavo.adovo.or.jp
- 事務局メールアドレス
secretariat@adovo.or.jp

○Webサイト

- 団体のWebサイト
<https://adovo.or.jp>
- 日本語教室のWebサイト
<https://japavo.adovo.or.jp>
- メンバーによるブログ
<https://blog.adovo.or.jp>
<https://pando.life/adovo>

ご支援について

○ご支援について

Adovo はどの事業においても収益事業を行っておらず、常に金欠状態です。そこで、皆さんからのご寄付を募っています。

ご寄付は、下の口座までお振込みをお願い致します。

【ご寄付先口座】

金融機関名：PayPay 銀行（金融機関コード：0033）

支店名：つばめ支店（支店コード：006）

口座番号：6271603（口座種別：普通）

口座名義：マツオカ シュウゴ